

北陸新幹線越前たけふ駅を巡る状況

～ 延伸区間唯一の新駅、期待と不安～

本年3月16日に北陸新幹線金沢～敦賀間が開通する。福井県内には4駅が設置されるが、唯一の新設駅となる越前たけふ駅（越前市）を訪問した。

1. 田圃の中の駅

北陸自動車道武生ICで降りて前の道路を左折するとほぼ1～2分で越前たけふ駅に到着する。駅は越前市役所やJR北陸本線武生駅など市中心部から直線距離で約3kmのところ設置される新設駅になる。

越前市は、平成17年武生市・今立町が合併して「越前市」となる。福井県は福井市を中心とした越前の国（嶺北）と敦賀市を中心とした若狭の国（嶺南）からなるが、その嶺北の南部2市（越前、鯖江）3町（越前、南越前、池田）域を丹南地区という。またの名を南越地区ともいい、新幹線計画時、当駅の仮称は「南越駅」だった。

丹南地区の人口は令和2年10月時点で181千人。南越駅（仮称）計画で開業時の駅勢圏人口は142千人、計画基礎となる駅利用者は2,000人/日と設定されている。

2. 早くも駅前広場が活況呈す

新幹線駅舎には立ち入れないので完成したばかりの近代的な外観を見るだけだが、既に新幹線車両が試運転（1日最大21往復）しており、ホームに発着しているのが見られる。

駅前広場は面積4.8千㎡、バス5台355㎡、タクシー発着・プール135㎡5台、一般車（短時間駐車）33台を有する。広場に続く部分には「交流促進の起点」として「道の駅越前たけふ」がある。北陸自動車道、国道8号からの好アクセスや丹南地域の中心に位置することから「広域交通拠点」「広域交流の起点」「防災機能」を期待された造りとしている。

道の駅駐車場は大型車23台、小型車88台の6千㎡。建物内は新幹線の待合室を兼ねた来訪者の交流スペースといった感じのホールがあり、「開通まであと65日」という電光カウントダウンボードが置いてある。

並んで物産販売兼飲食の建物。物産販売所は地元の食を前面に打ち出し「かみが美味しい道の駅」がキャッチコピー。立ち寄ったときは丁度越前ガニをポイルしており、通路に向けて盛大に蒸気を噴き出し辺りにカニの香りが充満している。他にも海の幸・山の幸を豊富に陳列。飲食ゾーンには6店があるほか海鮮バーベキュー店舗が2店ある。

訪れたのは平日の正午だったが、駐車場は1/3程度埋まり、地元の人らしいご夫婦連れなどが代わる代わる入ってくる。土日祝日は家族連れで賑わうのでは、と感じた。

このように、新幹線が開通する前に駅周辺の賑わいをつくり出すのはとても大事と感じた。リニア長野県駅（仮称）は、周辺整備が完了しても全体の状況からリニア新幹線が走らない期間がある程度ありそうだ。リニアが走らなくても当駅周辺が賑わうにはどのようなハード・ソフトづくりをするか、地域で考えていきたい。

駅裏（駅東）はパークアンドライド駐車場18千㎡、600台の駐車場。向かいには里山が迫り、周辺の田圃と併せ北陸の原風景が見られる。



越前たけふ駅

越前市主要施設の位置関係



「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画」（越前市HP）



道の駅物産販売所



越前たけふ駅舎（中央）とバス・タクシー乗り場（左）道の駅（右）

3. 二次交通の状況

既に高速バスが駅前広場のバス停を発着している。このバスは福井県と名古屋を結び、名鉄バスセンター、JR名古屋駅から県内の敦賀IC、越前たけふ駅、鯖江IC、福井駅東口に停車（うち1本は土日あわら湯のまち駅まで延長）。1日10往復を福鉄バスとJR東海バスで共同運行する。

北陸新幹線が開通すると、名古屋方面と越前市・福井市との行き来はこれまでの「特急しらさぎ」（名古屋→米原→金沢）で1本が敦賀駅での乗換えが生じ、時間短縮効果は若干あるものの料金が上がる。乗り換えなしで名古屋・福井間を移動できる利便性と低料金が相俟って高速バス利用者が増えるのではとも考えられた。注目したい。

他方で、越前たけふ駅と市中心部との二次交通は、対応いただいたバスセンター職員によると「武生駅方面へ1時間に1本程度繋ぐ路線バスができるように聞いているが正式発表はない」とのことだった。

4. 新設駅設置決定経緯と駅周辺の開発方針

越前市役所を訪ね聞き取りを行った。まず新幹線駅位置決定の経緯についてであるが、面談した市職員からは「私が小中学生の頃から新幹線のルートはこの辺りと聞いていた」とのこと。在来線駅併設といった地元要望はどうだったのかと思うが、北陸新幹線建設期成同盟会のHPに、「昭和62（1987）年 芦原温泉・南越前環境影響評価実施のための駅・ルート発表」とあり、正にこの頃までに様々折衝がなされ、結果現在の駅位置に決定されたと考えざるを得ない。

駅周辺は都市計画区域だが用途地域の指定がないいわゆる白地地区。一面の田圃で圃場整備が行われて大部分が農振農用地となっている。市では平成30年に駅周辺整備対象区域を特定用途制限地域に指定して建築物の建築を制限。この間地域住民の意見を集約してまちづくり計画を進め、「無秩序な開発を抑制し（中略）広域交流及び連携拠点にふさわしい広域高次都市機能をもつ市街地を形成し、かつ、保全することを目標とする」ため地区計画（都市計画法第12条五）を決定。土地利用方針として「賑わいの創出や地域活性化に寄与する商業・業務・産業機能や交流機能等を導入」（地区計画書）としている。具体的には「民間活力の導入がカギ」（同市）とのことだった。

5. 利用者数への不安と、進められる駅周辺での開発事業

冒頭に記したが当駅の基礎数値は駅勢圏人口142千人、利用者数（乗車人数）2,000人だが、在来線で武生駅から福井駅へ約20分、敦賀駅へ30分程度での位置にあり、速達列車「かがやき」に乗るため丹南地区から両駅に流れて越前たけふ駅の利用は振るわないのでは、と心配する声があるという。

昨年12月発表された北陸新幹線敦賀延伸時のダイヤでは、当駅に「かがやき」が1日2往復停車する。同じ北陸新幹線新高岡駅の当初1日1往復、その後週末のみの停車、に比べ良いスタートといえるが、当駅の発着時刻は上りが6時台と20時台、下りが7時台と21時台。日中の「かがやき」は通過してしまう。これがどう影響するか。

利用者数について、この駅の将来に関わる重要な事業を目にすることになった。新幹線駅と道の駅の向かいの元は田圃の広大な敷地に研究開発施設の建設が行われている。開発者は㈱福井村田製作所。敷地面積5.5ha、建築延べ面積40千㎡の「セラミックコンデンサ研究開発センター」で、「研究開発に特化した最先端の環境を整備することでよりハイレベルな研究開発業務および技術者の育成を図」とともに「商品開発から量産にいたるまで、生産プロセス全体におけるモノづくり力の強化を目指す」という（同社HP）。

市中心部と離れて低調な利用で推移するか、それとも真新しいキャンパスで奔放に画を描くように、新幹線駅を核としたホットスポットになるか。同じく新駅を抱える当地域と対比しながら、今後のこの地域の変貌を見ていきたい。



本年NHK大河ドラマの紫式部は父の赴任に伴い都を出てこの地で暮らしたと伝えられ、駅前工事現場のフェンスにもキャンペーンが



北陸本線武生駅

北陸新幹線 列車別停車パターン

列車名	本数(往復)	敦賀	越前たけふ	福井	芦原温泉	加賀温泉	小松	金沢	...	東京
かがやき	5	○		○				○		○
	2	○	○	○			○	○		○
はくたか	2	○		○	○	○		○		○
	5	○	○	○	○	○	○	○		○
停車回数(往復)	14	14	7	14	7	7	7			

つるぎ	本数(往復)	敦賀	越前たけふ	福井	芦原温泉	加賀温泉	小松	金沢	新高岡	富山
各駅停車タイプ	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○	○		
速達タイプ	5	○		○					○	○
	4	○		○				○		
停車回数(往復)	25	25	16	25	16	16	16	25	18	18

(JR西日本HP「2024年春のダイヤ改正について」)



越前たけふ駅前の開発現場 右が越前たけふ駅

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)